2018-19 53th

Rotary クラブ週報

東京城東ロータリークラブ

2019. 1. 21　第2449回例会

会長テーマ　若井一郎

「親睦と友情を見つけ 楽しいクラブに」

国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第2580地区ガバナー
松坂順一

第2580地区幹事
今井　忠

(当クラブ担当)
ガバナー補佐：江川　勝
東分区幹事：石渡嘉郎

インスピレーションになろう

例会日：毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場：東武ホテルレバント東京
〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2　Tel:03-5611-5511

事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-5-5 A ビル
Tel:03-5637-4605　Fax:03-5637-4611
E-mail : jyoto@club.email.ne.jp

会長：若井　一郎　　副会長：秋山恭一郎
幹事：根本　弘道　　副幹事：今井　邦彦
会報委員長：村上 愼吾

2019/1/8(火)
「新年初例会」
獅子舞　亀戸天神社 葛西囃子

2019年1月8日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『君が代・奉仕の理想』
ゲストスピーカー	5名
ゲスト及びビジター	1名
会員出席状況	43名37中名(出席率86.05%)
前々回訂正出席率	100%

- 1月の受付当番 -
宮﨑君/村上君/山口君/山田君/会田君

本日の卓話

初笑い
「　落語の中のちょっといい噺　」

落語家
三遊亭 鳳志 師匠

次回の卓話

「　第3回クラブフォーラム　」
【職業奉仕委員会担当】

例会場にて引き続き開催

2018-19年度 東京城東ロータリークラブ
第7回理事役員会

2019年1月8日(火) 東武ホテルレバント東京

理　事　　若井一郎(会長)○
　　秋山恭一郎(副会長・クラブ奉仕)○
　　杉田敬光(職業奉仕)○
　　宮﨑浩一(社会奉仕)○
　　齊藤榮一(国際奉仕)×
　　奈良康司(青少年奉仕)×
　　中村浩紹(クラブ資料)○
　　阿部　豊(直前会長)○
　　鈴木竹敏(親睦活動)○
役　員　　根本弘道(幹事)○
　　今井邦彦(副幹事)○
　　鈴村篤史(会計)○
　　篠田泰彦(ＳＡＡ)×

≪議題≫

1．下半期を迎えて
　若井会長より下半期を迎えての挨拶
2．月次会計報告
　鈴村会計より11月分報告　⇒　承認
3．下半期会費請求
　1月末日までに下半期会費納入　⇒　承認
4．新年初例会　1/8（火）
　17：30　　集合・写真撮影
　18：00～　新年初例会・懇親会
　当日のスケジュール確認
5．第3回クラブフォーラム【職業奉仕担当】
　1/28（月）12：30～（例会後）
　テーマ「東京城東ロータリークラブの
　　職業奉仕活動とは」
　グループディスカッション方式で行う
　⇒　承認
6．第2580地区年次大会
　2/20（火）、21（水）
　ホテルニューオータニ　　参加者18名
7．委員会報告
　①親睦活動委員会
　・親睦家族会（12/8）収支報告　⇒　承認

（右上に続く）

　②職業奉仕委員会
　警視庁見学会（11/5）収支報告
　⇒　承認
8．その他
　①委員会構成表修正
　児玉会員、江波戸会員退会による、委員会構成表の修正
　　親睦活動副委員長：細谷会員
　　ウェブ委員長：篠田（秀）会員
　　ウェブ副委員長：篠田（泰）会員
　　米山奨学委員長：会田会員
　⇒　承認
　②親睦旅行について
　日程：6/14（金）～6/16（日）
　場所：四国　　⇒　承認
9．次回開催
　2月4日（月）11：30～

2019-20 年度　ＲＩテーマ発表

マーク・ダニエル・マローニー氏

アメリカ・アラバマ州
ジケーター・ロータリークラブ

『 Rotary Connects the World 』

ロータリーは
世界をつなぐ

※「 国際協議会報告 」は次頁をご覧ください

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

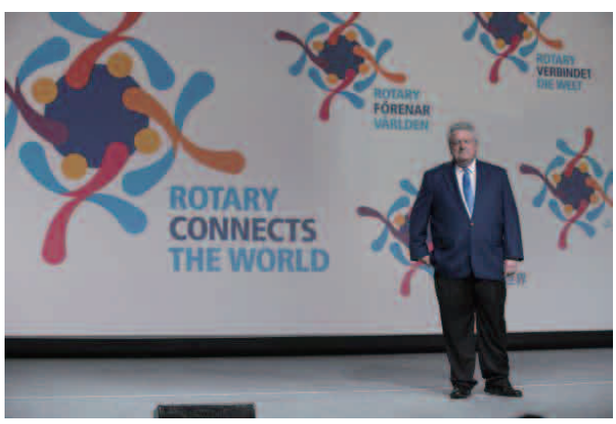
国際協議会報告：2019. 1. 14

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

2019-20 年度 RI 会長がテーマを発表

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表し、地域社会とのつながりを広げるために、革新的な会員モデルを導入していくことをクラブのリーダーに呼びかけました。

ジケーター・ロータリークラブ（アメリカ・アラバマ州）会員のマローニー会長エレクトは 1 月 14 日（月）、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中の次期ガバナーエレクトへの研修行事である国際協議会で、2019 - 20 年度の会長テーマ、**「ロータリーは世界をつなぐ」**を発表しました。



「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。

ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人達を特定するよう全てのロータリークラブと、ローターアクトクラブに促しました。

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人達を特定するよう全てのロータリークラブとローターアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的において末永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。

会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえるよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ること、つまり期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

国連との関係

2019 - 20 年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、国連との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7 月に発表されます。

2020 年、国連はその創設と平和の推進という使命に基づいた活動の 75 周年を迎えます。ロータリーは国連憲章につながった 1945 年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招へいした 42 の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道的課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。

マローニー会長エレクトは、次のように述べました。

「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーは他の組織にはかなわないものを提供します。

それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

記事：Arnold R. Grahl 写真：Alyce Henson